

新緑の季節 飯南に「オペラ」 の歌声響く



迫力の歌声は多くの人を魅了しました

5月12日に開催された「ぼたんまつり」で、東京オペラシンガーズによるオペラ公演が開催されました。オペラシンガーズは、アメリカの古い歌や日本の四季の歌「村祭り」「まっかな秋」など15曲を合唱。「本格的なオペラを聞けて本当に良かった」と来場者の心に響く公演となりました。

今回の公演は、広島県原会（飯南町出身者会）の泉原龍見会長と東京オペラシンガーズ代表の寺本知生さんとの間に交流があったこと、そして何よりも「地元飯南の地でぜひとも本格的なオペラを町民に聴いてもらいたい」という泉原会長の強い思いから実現したものです。泉原会長には、開催にあたって多大なご支援をいただきました。

サクソフォン寄贈

5月25日、頓原ライオンズクラブから頓原中学校にサクソフォン1本の寄贈がありました。

頓原ライオンズクラブ認証40周年記念式典の中で、上田進一会長が山崎町長へ目録を手渡されました。式典では、寄贈されたサクソフォンが披露され、頓原中学校吹奏楽部による演奏も行われました。



寄贈されたサクソフォン

このサクソフォンは吹奏楽部の活動に役立てられます。

災害救助物資の調達に 関する連携協定を締結



連携協定締結式

（株）ジュンテンドーと本町との間で「災害救助物資の調達に関する連携協定」を締結しました。

この協定は、町内で災害や重大な事故が発生した時、日用品などの物資を町が同社から調達することで、避難所の運営や災害復興を円滑にすることを目的としています。

同社の小田恭司取締役総括部長は「昨年7月の豪雨を教訓に、地域に欠かせない存在でありたい」と話していました。

今後は、両者で災害時に必要となる物資を具体的に確認するなど、協力体制を整えていきます。

春の叙勲・褒章

春の叙勲（瑞宝双光章）

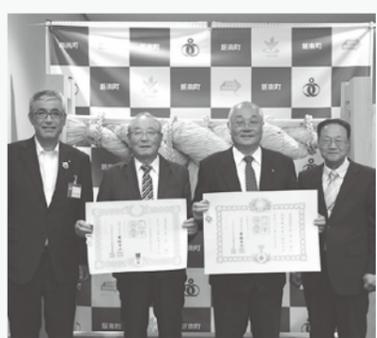
森島功武さん（下赤名）

昭和50年から平成19年まで33年にわたり消防団員として積極的に消防・防災活動に尽力されました。

特に、平成8年から平成19年まで消防団長として団員の育成指導や防火診断、防犯パトロールなどきめ細やかな予防体制を確立され、消防団活動の発展に寄与されました。

春の褒章（藍綬褒章）

景山武さん（都加賀）



景山武さん（中左）、森島功武さん（中右）

平成7年から現在まで25年にわたり選挙管理委員会委員として公正な選挙の執行に尽力されました。特に、平成21年からは委員長として有権者の立場に立った選挙事務の執行に努め、県内唯一となる老人ホームでの期日前投票所の設置など、投票事務の改善に努められました。

サイレンと共に行動 開始、防災訓練

町全域で全町民を対象とした防災訓練が行われました。今回は前回に引き続き、豪雨による土砂災害を想定し、関係機関の情報伝達訓練や避難訓練、各災害別の避難場所の安全性の確認などの訓練を実施しました。



避難完了



みんなで災害に備えます



雲南消防本部による救助訓練指導の様子



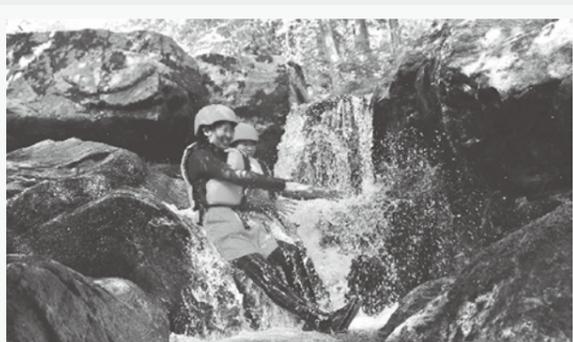
町内から多くの情報が寄せられました

まちを元気に！ 地域おこし協力隊

飯南町内のさまざまな地域課題に取り組む「地域おこし協力隊」の活動を紹介します。

今月は、飯南町観光協会を担当する原田俊行隊員の活動報告です。

昨年の夏から、森林セラピー事業の一環として「シャワークライミング事業」を本格的に開始しました。シャワークライミングとは、澄んだ川の水をシャワーのように浴びながら川を登って行くことから名づけられた体験型の活動です。



日頃の疲れは水に流しちゃおう



冷たい水を浴びながら滝のぼり

飯南町は神戸川の源流の地で、周辺には美しい自然と豊富な水量を誇る清流が多くあります。清流を上流に登りながら、滝に打たれたり、滝つぼに飛び込んだり、天然のウォータースライダーで遊んだり。大人も童心にかえって、子どもと一緒に楽しめるのがシャワークライミングの魅力です。

冷たい水が流れる清流を楽しむためにウェットスーツ、安全のためにライフジャケットとヘルメットを着用、滑り止めのついた専用靴を履いて楽しめます。体験後は心地よい疲労感と達成感を味わえます。森林セラピーと一緒に、シャワークライミングで夏の自然を満喫してみてください。